☆ 司会進行 SAA 細川幸三 君

＜ゲスト＞

＊(株)グローバルリンクス 大西誠一 様

＊玉置真司 様

＊北垣 剛 様

Celebration

稲垣 崇 君

【ご結婚記念日】

白井 勇 君　　栗本 浩 君

会 長 告 知

会長 龍田安廣 君

皆さんこんばんは。本日のゲストとして、グローバルリンクス株式会社 上部取締役 大西誠一様をお迎えしております。後程、アジアの視点からから見る日本と題して、卓話をして頂きます。よろしくお願い致します。

それから、例会見学という事で、玉置真司様・北垣 剛様にお越し頂いております。最後まで御観覧下さい。

先だって当クラブの小林君の厚生大臣表彰祝賀会が盛大に行われました。又、栗林君も消防の功績として、消防庁鑑賞を授与されました。重ねまして、お二人に喜び申し上げます。これからもより地域・住民の為に頑張って頂きたいと思っています。

過日、3日の日曜日に、海南西ロータリークラブ20周年記念例会に出席して参りました。当初は、35名～のスタートが今は減少して19名という事であります。内、女性会員1名です。当日は会員夫人も10名出席され、盛大に式典も終了し、祝宴も滞りなく終始いたしました。

当クラブも、後数年で20周年記念となりますが、この記念例会を少しでも参考にすれば良いのかなと思った次第であります。　これで告知と致します。

幹 事 報 告

幹事 小池佳史 君

○例会変更

＊当クラブ次週 3 月 13 日(水)移動例会の為、休会。

○本日例会終了後、理事会を開催致します。

○親睦旅行の大阪場所の件で、春日野部屋の親睦ゴルフコンペの案内がきています。当クラブからも参加したいと思いますので宜しくお願いします。

日時:3 月 26 日(火)　場所:ラ・グレースゴルフクラブ

委員会報告

【クラブ管理運営委員会】委員長 白井 勇君

○大相撲 大阪場所の見学ツアーをかねた親睦旅行

出発⇒3 月 16 日(土)商工会議所前PM12:00 です。

※くれぐれも遅れないよう忘れないよう、宜しくお願いします。

本日のプログラム

「アジアの視点から見る日本」

(株)グローバルリンクス 大西誠一 様

ご紹介頂きましたグローバルリンクス株式会社の大西でございます。本日は貴クラブ例会にお招き頂きまして真に有難うございます。

私のような若輩者が何かを語ることは、釈迦に説法となってしまうかもしれませんが、お預け頂きました貴重なお時間で、何かのヒントや、きっかけ、思い出し等の一助となることができたら幸いです。 どうぞ宜しくお願いいたします。

明治維新より『殖産興業・富国強兵・脱亜入欧』を合言葉に近代国家への道を歩みはじめ欧米列強の仲間入りの後、太平洋戦争による壊滅的戦災を乗り越え、『所得倍増計画・列島改造論・加工貿易立国』として驚異的な戦後復興を成し遂げました。米ソ冷戦構造という枠組の中、西側主要国として米国の手厚い保護下で経済成長を続け、1979 年のソ連によるアフガニスタン侵攻に端を発する新冷戦構造激化の中、『終身雇用・主要先進国 G5』など 1984 年時点にて、疲弊する米ソ

両大国を尻目に、1ドル 250 円という超円安を背景に、貿易黒字(年間約 9 兆円)の積み増しという国富拡大に邁進しました。

------- 中 略 -------

一般的な先進国が将来的に一定の人口量を維持していくために必要な特殊出生率は 2.08 といわれています。(確率論では 2.00 ですが、若干男性が多く産まれ、女性が産後死亡するケースがあるため、統計学上+0.08 が必要とされています)即ち、2.08 を下回れば将来人口は減少していくという目安です。決して 2.08 を下回れば人口減少が始まるということではありません。あくまでも将来人口の減少要因です。

わが国日本は、1975 年に 2.08 を下回りましたが、当時の人口は1億1179万人でした。以降 2005 年 6 月までの約 20 年間は、増加し続け人口は1億2750万人に達しました。

特殊出生率が将来人口マイナスを示すなか、人口が増え続けた 20 年間は人口構成ピラミッドの裾野が広い部分が上昇(高齢化)したのです。

極論を言えば、人口減少(内需パイの縮小)への特効薬として、外国人の移民をどんどん受入すれば、日本の総人口を減らすことなく絶えず一定に保つことは可能です。現実として、台湾・韓国などの特に合計特殊出生率の低下している国は、移民の受入政策に舵を切っています。しかし、それは民族自決・一民族国家として成立している日本国ではなかなか受入がたい問題です。 移民政策を行わず、緩やかな人口減少を放置した場合の日本人人口は、2025 年に1億2114万人、2050 年に1億60万人、2075 年に7810万人へと減少してゆくと予測されています。特に、2005 年から 2030 年までの 25 年間は、その人口構成ピラミッドは、裾野の広い部分がどんどん上方移動し、頭でっかちな状態が続きます。

高齢化という現象です。即ち今後 20 年程度の期間は年金給付・医療費負担等の社会保障費予算は急激に増大していくのです。 非常に困難な国内財政問題が発生します。

しかしそれは未来永劫ではなく、ほんのこの先 20 年という時間でしかないのです。以降の、日本は緩やかな人口減少社会が到来し、縮小均衡が図られていくと予想します。

翻って世界に視野を拡げれば、どのような変化が生じているのでしょうか？

1998 年に60億人だった人口は、2010 年 10 月 31 日に70億人を突破したと国連が発表しました。このテンションは 2075 年程度まで続き、ついには100億人を突破すると予測されています。もちろん平均出生率自体は低下していくのですが、寿命が延びていくので結果として100億人を超える人口規模に到達するとの予測です。

食糧問題・エネルギー問題・水資源問題。100億の人類を養っていく力が、この地球にあるのでしょうか？足元の国内は緩やかな人口減少社会ですが、世界では人口爆発が起きています。

近い将来消費マーケットは、現在の先進国から東南アジア、南アジア、アフリカ地域へと順次スライドして行きます。彼の地の人々も先進諸国の支援を受けながら、日々経済発展していくのです。

成熟し内需拡大が見込めない、そしてコストの高い日本に生産業の拠点が舞い戻ることは想定しにくいです。 資本企業活動は拡大再生産を絶えず求め続け、よりコストの安いより消費地に近いより利益の取りやすい場所を求めて彷徨うのです。

円高の是正は必要です。商品の販売競争力を後押しするためにも最低条件です。金融緩和も必要です。円高誘導要因であるし、高齢化社会に備え、国民資産を膨張させる必要があります。 しかし、すみすみマネーゲームのプレーヤー達に献上してしまうような過度のマネーサプライは慎むべきです。

海外との接点構築を一段と加速させ、海外からの一時滞在者、投資マネーを呼び込み、関税撤廃保護の農業助成を慎み、海外に打って出ることに助成支援を選択集中し、日本国の誇れる技術、品質を求める世界の人々の需要を取り込むことに、集中投資することです。

むこう 20 年の急速な高齢化社会に対応するために、大胆な規制緩和・条件緩和を実施し、購買力平価の低い国(東南アジア諸国)でも、条件付にて介護保険が適用されるようにして企業も農業も、そして高齢者も、どんどん世界に進出して行くべきです。

真の成長戦略とは成長を放棄し、成熟を受入、縮小均衡を前提とする外需の取り込みなのではないでしょうか？一国の財政金融政策がグローバル経済と親和融合するためには、世界水準への平準化作業が必要です。即ち国内は縮小均衡を前提とするしかないのです。 際限の無い経済成長はありません。切り開き進む道を歩むスピードが、あとから追いかけるスピードを上回ることは至難の業です。むしろ切り開く労力より、衝突された時の衝撃緩和体制を築いておくことが重要なのです。

人類がより快適で、より幸福な生活を求め続けるのであるならば、人口規模においてわが国日本が主要な地位を維持し続けることは困難です。しかし、その多くの人口に対して貢献し、名誉ある地位を獲得維持することは可能です。

皆様方がユニセフと共同で取り組まれている識字率の向上活動などはその最先端の活動であると心より敬意を表しつつ、私のお話を終えさせていただきます。

長らくのお時間、ご清聴有難うございました。

ニコニコ箱

SAA 細川幸三 君

◇小林隆弘 君(超過分に) 3 月 2 日、私の大臣表彰祝賀会、本当にありがとうございました。

◇栗林久一 君(過分に) 消防庁長官表彰 永年勤続功労章を頂きました。

◇龍田安廣 君 小林君厚生大臣表彰おめでとうございます。

◇白井 勇 君 大西様、本日宜しくお願いします。
小林さん、大臣表彰おめでとうございます。

◇稲垣 崇 君 大西君、今日はありがとう。

◇細川幸三 君 小林さん、先日は大変お目出たい席にお呼び頂き、ありがとうございました。
大西様、本日宜しくお願いいたします。

出 席 報 告

出席委員会 雑賀鈴夫 君

会員数	欠席者	出席者	免除会員	出席率
12名	1名	11名	0	91.7%
2月20日 の修正出席率			なし	